

熊本朝日放送

事業の名称

「ふるさとCM」制作を通してのメディアリテラシー教育（学校教育連携）

共同で事業を実施した団体

熊本県美里町、美里町教育委員会

事業概要

【対象】美里町立中央中学校2年（28名・7班）、砥用中学校1年（15名・4班）

【期間】2024年6～10月、対面・オンラインを併用して実施

【内容】本事業は、中学生が自分たちで地域を取材し、その魅力を伝えるために企画・構成した30秒の「ふるさとCM」を制作し、地上波で放送することを目的としています。また、CM制作に向けて多角的な講座を行うことで、テレビメディアの在り方についても学んでもらうことを目指しています。

事業の成果

講師は当社の社員などが務め、テレビ局のスタジオ見学や、アナウンサー、記者、カメラマンにおける実技講座を実施しています。CMコンテ作成時のアドバイスは、対面とオンラインを交えながら行いました。「メディアリテラシー」の講義の中では、テレビ局のニュースが放送されるまでに、どのようなプロセスで「正しい情報」を集め、どのような点に注意しているかを伝え、実際にニュースが放送される過程を見学した後に、アナウンサーとの質疑応答を設けるなど、実感を伴ったメディアとの向き合い方を感じてもらおうよう努めました。また、「最大」などに見られる情報の裏付けや、視聴者を不快にさせない表現など、CMにおける考査的側面についても学ぶ機会を設け、テレビ放送の信頼性を高める日々の姿勢に触れてもらう機会をつくっています。これらの講座を通じて、生徒たちからは、「テレビの見方が変わった」という声が多く聞かれました。



<中央中学校 完成CM>



<砥用中学校 完成CM>

一連の取り組みは、生徒が自ら考える力を伸ばすことに重点をおき、自主性の後押しになるよう教員の方々と密に連携を取り続けました。当初は、生徒にためらいが見

て取れましたが、およそ4カ月の時間の中で、おのずと質問が飛び交うようになり、また自分たちで積極的にアイデアを出し合う姿が見られました。ただし、工程が「編集」に入ると、初めて使う動画編集アプリに没頭し、ある種の遊び道具として扱う姿も散見されました。中学生のデジタル対応能力に驚く一方で、本来の趣旨から逸れる時間もあり、その度に、企画立案の際に整えた絵コンテに添うよう軌道修正を行うなど、作品のブラッシュアップに向け、対話を重ねました。初めて取り組むのは教員も同じで、一時期は完成への道筋が見えず不安が募る時間もあったようですが、生徒の意思を尊重しつつも、然るべき方向に修正していく時間を共有することで信頼関係を築き、最終的には「プロだからこそ組み上げられた時間だった」と、好評を得ています。

完成した2中学校の11作品は、18時15分から放送中の自社制作ニュース情報番組で月曜から金曜までの5日間にわたって放送しました。地上波放送への反響は大きく、各家庭での話題に上るだけでなく、学校や市町村のPRとしても大いに役立っていると評価されているほか、地域の学習成果発表会や、学校や町のウェブサイトなどでの活用を通じて、さまざまな場で披露されています。

さらに、今年度の砥用中学校の取り組みが、熊本県が小・中学校を対象に実施している「くまもとICTコンテスト」の中学生部門で「最優秀賞」を受賞したことは、教育におけるテレビ局の役割や、ICT教育の新たな可能性を示すものになりました。

この美里町との取り組みは他自治体からも注目されており、2025年度には水俣市でも同様の連携授業を実施することが決定しました。さらに、先だって連携協定を結んでいた高森町とは当初3カ年だった計画を、さらに2年延長することになりました。

当社ではこれらの実績を励みに、今後も教育における連携協定を「継続」していくことで、地域の人材育成に貢献したいと考えています。

【授業スケジュール】

◆中央中学校2年生

- ・ 6月12日 スタジオ見学
- ・ 6月27日 実技指導①
- ・ 7月3日 CMコンテについて（オンライン）
- ・ 9月13日 実技指導②
- ・ 9月26日 編集指導①
- ・ 10月4日 編集指導②（オンライン）
- ・ 10月10日 ナレーション収録
- ・ 10月17日 完パケ作業
- ・ 10月23日 学習成果発表会

◆砥用中学校1年生

- ・ 5月24日 スタジオ見学
- ・ 5月31日 実技指導①
- ・ 6月14日 CMテーマについて（オンライン）
- ・ 7月10日 CMコンテについて（オンライン）
- ・ 9月11日 実技指導②
- ・ 9月19日 編集作業
- ・ 9月27日 ナレーション収録
- ・ 9月30日 ナレーション収録
- ・ 10月11日 学習成果発表会

【完成CMの活用】

- ニュース・情報番組『touch』の中で、全作品を放送
 - ・ 中央中学校7作品、砥用中4作品を12月16日～12月20日、1日に2、3作品ずつ番組内で紹介
 - ・ 当社の番組内でも随時放送した（2025年3月まで）
- その他の活用
 - ・ 両校の学習成果発表会での成果発表
 - ・ 全国フットパスの集い2024シンポジウム会場での発表
 - ・ 学校のウェブサイトなどでの作品紹介
 - ・ 宇城地区「地域と学校の連携・協働」推進実践交流会での成果発表

以 上